

◆ 開発教育セミナー ◆



1989年に始まり、関西セミナーハウス活動センターの主要プログラムとして開発教育研究会を中心に行っています。安心して発信できる雰囲気を作り、対話を促進し、1泊2日の中で、人権・平和・環境・開発という地球的課題に取り組み、教材やアクションプラン作りをめざしています。しなやかに元気ののる学びの場を、みなさんの「参加」で作っていきましょう。



◆ すすめかた ◆

参加型学習の基本になる「話し合い」を軸にしたワークショップ形式で行います。

◆ タイムテーブル ◆ [第2～6回] (第1回は要項参照)

【1日目】	【2日目】
15:30 - 受付	8:00 - 朝食
16:00 - セッション①	9:00 - セッション③
18:00 - 夕食	12:00 - 終了
19:00 - セッション②	*2日目の昼食が必要な方は申し込み時に、ご予約ください。(追加料金:1,150円予定)
21:00 - 交流会(自由参加)	

\*当日、教材(書籍)の展示・販売も行います。



◆ 会場のご案内 ◆

京都市国際交流会館(kokoka) (第1回)

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1  
電話:075-752-3010 <http://www.keif.or.jp>  
・地下鉄東西線「蹴上(けあげ)」出口2から徒歩6分  
・市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」から徒歩10分、「南禅寺・疎水記念館・動物園東門前」から徒歩1分  
・駐車場(有料)、駐輪場(無料)

関西セミナーハウス (第2～6回)

・地下鉄烏丸線「北山」出口2からタクシー10分  
・市バス「修学院道」「修学院駅前」、叡山電車「修学院」から徒歩20分  
・駐車場(無料)



◆ 開発教育セミナー要項 ◆

対象: 開発教育に関心のある方。

定員: ①40名、②～⑥20名

参加費: 第1回 1,000円、第2～6回12,000円(1泊2食、宿泊税込)

申込み: 下記へ締め切り日までにお申し込みください。

- \*各回要項もご確認ください。ウェブサイトでもご覧いただけます。
- \*プログラムの構成上、できるだけ全日程でご参加ください。
- \*部分参加は事務局にご相談ください。
- \*定員に達した場合、締め切ることがあります。
- \*宿泊は、2～3名の相部屋です。個室ご希望は、申込時にお知らせください。追加料1,000円。
- \*前日以降の取消・変更は、一部キャンセル料がかかります。

◎ 開発教育とは ◎

私たちひとりひとりが、開発をめぐるさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。そのため、開発教育は次のようなことをめざしています。

- ・世界の文化の多様性を尊重する
- ・貧困や南北格差の現状と原因を理解する
- ・開発問題と地球的諸課題との関連を理解する
- ・世界と私たち自身とのつながりに気づく
- ・社会参加できる能力と態度を養う

(特活) 開発教育協会 (<http://www.dear.or.jp>) の定義より

【申込み・問合せ】

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
電話:075-711-2117(直)  
FAX:075-701-5256  
Eメール:office@academy-kansai.org  
<http://www.academy-kansai.org>



2024年度

～ 地球市民をめざして～

# 開発教育セミナー

- 第1回 6月23日(日) <共催 京都市国際交流協会>  
開発教育入門セミナー [会場 kokoka 京都市国際交流会館]  
～SDGsを自分ごと～  
・「となりのムスリム・ムスリマ」  
・「わたしたちのパレスチナ問題」  
講師 開発教育研究会
- 第2回 7月6日(土)～7日(日)  
パレスチナの平和をつくる  
～今起きていることを植民地主義の視点から考えてみよう～  
講師 岡 真理 さん
- 第3回 9月7日(土)～8日(日)  
私からはじめるアドボカシー  
～市民社会を築くために～  
講師 加藤 良太 さん
- 第4回 10月5日(土)～6日(日)  
わたしから始める  
～難民と一緒に暮らせる街をめざして～  
講師 田中 恵子 さん
- 第5回 11月30日(土)～12月1日(日)  
地球と食の未来を考えるPart2  
～おにぎりとNISAから考える経済「金融化」のカラクリ～  
講師 平賀 緑 さん
- 第6回 12月21日(土)～22日(日)  
「植民地支配責任」を考える  
～朝鮮学校の歴史と現状を学ぶことから～  
講師 板垣 竜太 さん

主催: 公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会  
後援(申請中): 京都市教育委員会、京都府教育委員会、認定NPO法人 開発教育協会(DEAR)

..... 2024年度 開発教育セミナー申込書 .....

フリガナ	名前	所属
参加を希望する回に、○をつけてください。		
第1回	6/23 ( )	第2回 7/6-7 ( )
第3回	9/7-8 ( )	第4回 10/5-6 ( )
第5回	11/30-12/1 ( )	第6回 12/21-22 ( )
住所 (〒 - )		
電話 ( ) - ファックス ( ) -		
電子メール: @		
通信欄		





# 2024年度 開発教育セミナー年間案内



## ◇ ごあいさつ ◇

2023年は2万人に上る死者が出たりヒバの洪水や、カナダの山火事など異常気象が頻発しました。今なおパレスチナではイスラエルによる軍事侵攻が続き、ガザ地区に閉じ込められた約230万人のパレスチナ人が大量殺戮と飢餓に直面しています。気候変動、戦争、食料不足などの複数のリスクが相互に絡み合って増幅させる複合危機が進行しています。

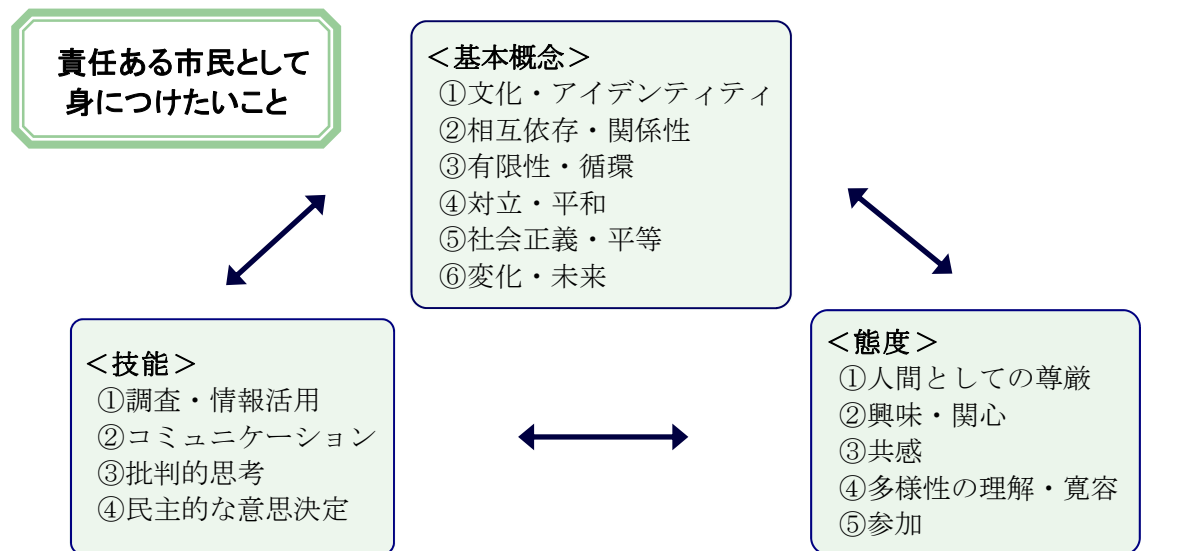
また、去年は関東大震災から100年の年でした。各地で犠牲者を追悼する行事が開催され、教訓から学ぶ機会となりましたが、虐殺の事実をなかったことにする人々の行動もあり、行政の中にも見解を明らかにしない態度が見られました。本年2月の「群馬の森」朝鮮人追悼碑の撤去も同じ様相を呈しています。公共の電波でも不確実な情報が流布され、知の蓄積が否定され、侵略戦争や植民地の歴史を語りにくい社会になってきています。

一見かけ離れて見える遠くと近くの出来事は、「不公正」や「植民地主義」の視点を抜きにしては考えられません。当事者を傷つけているだけではなく、平和・人権・民主主義などの第二次世界大戦以降大切にしてきた理念や良心も傷つけています。解決にいたる道のりがさらに遠く現状を前に、無力感でへたりこむわけにはいきません。私たちは何ができるのでしょうか。何をしなければならないのでしょうか。それぞれの問題には長い歴史があり、目の前で起こっている時点で始まっているわけではありません。学ぶことから始めましょう。

開発教育研究会は参加型学習を通して、一人ひとりが社会問題を理解し、問題解決をめざして活動してきました。今年度も現場とつながって研究・活動する講師を招き、セミナーを開催します。学習を通して、もつれた糸が解きほぐされるように複雑な要因や実態が分かりやすくなります。参加者同士の話し合いでは、自分とは異なる意見にも耳を傾け、対話を重ね、学び合いが促進されます。これらの活動が補助線となり、理解が深まるでしょう。そして、学びから行動へ。

自然豊かな比叡山の麓の関西セミナーハウスで、みなさまとお会いできるのを楽しみにしています。

関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会



当セミナーから生まれた開発教育教材集『新しい開発教育のすすめ方』、『同Ⅱ 難民』(古今書院)、『身近なことから世界と私を考える授業』、『同Ⅱ』『同Ⅲ』(明石書店)を、セミナー時には、割引価格で販売します。



第1回 6月23日(日) 会場: 京都市国際交流会館(kokoka)

## 開発教育入門セミナー ～SDGsを自分ごとに～

[共催](公財)京都市国際交流協会 講師: 関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会

### ① とんりのムスリム・ムスリマ

ムスリム\*の日常の暮らしを知り、学校、地域でのムスリム理解のための取組などについて出し合い、多様な背景を持つ人々が共に暮らせる社会づくりについて考えましょう。\*イスラム教を信仰している人をアラビア語でムスリムと言います。

### ② わたしたちのパレスチナ問題

どうして解決しないの!? パレスチナ問題は難しく分からない!?背景や歴史をたどりながら、今遠くで起きているのちの危機を、同じ世界で生きている私たちの問題としていっしょに考えましょう。

第2回 7月6日(土)～7日(日)

## パレスチナの平和をつくる～今起きていることを植民地主義の視点から考えてみよう～

講師: 岡 真理さん(早稲田大学文学学術院)

イスラエル軍による軍事攻撃が激化し、封鎖下のガザでジェノサイドが進行しています。しかし、国際社会はこの深刻な事態を止めることができていません。多くのメディアは、紛争は10月7日のハマースの攻撃から始まりイスラエルの侵攻はテロとの戦いだとし、問題の核心について十分に伝えていませんでした。パレスチナ問題の背景には何があるのか、私たちの社会がこれまで見過ごしてきたものを直視し、平和をあきらめないために今できることをともに考えましょう。

第3回 9月7日(土)～8日(日)

## 私からはじめるアドボカシー～市民社会を築くために～

講師: 加藤 良太さん(市民社会スペースNGOアクションネットワーク(NANCIS))

国際的な紛争などの不安、政治不信、生活の苦しさ、気候危機…。私たちを取り巻く現状は、安心して生きることのできる状況とは言えず、無力感におそわれることもあるのではないのでしょうか。

市民一人ひとりが声をあげ、行動し、創りたい社会を実現できることが民主主義の希望です。市民とはなにか、市民が行動すると何ができるのか、長く国際協力NGOなどでアドボカシー\*活動に取り組んでこられた加藤さんをお迎えし、その可能性を探ります。\*アドボカシー(市民主体の権利擁護、政策提言などの活動)

第4回 10月5日(土)～6日(日)

## わたしから始める～難民と一緒に暮らせる街をめざして～

講師: 田中 恵子さん(NPO法人RAFIQ 難民との共生ネットワーク)

世界中で戦争や紛争が頻発し、その度におびたしい数の難民や避難民が生まれ出されています。現在、難民受け入れに消極的な日本にも多くの難民がたどり着いています。長年関西の難民支援に取り組んでいるRAFIQの活動事例から、入管法や難民支援の課題を浮き彫りにし、多様な人を受け入れる社会を創るために、一市民としてどう関わっていけばいいのかを一緒に考えましょう。

第5回 11月30日(土)～12月1日(日)

## 地球と食の未来を考えるPart2～おにぎりやNISAから考える経済「金融化」のカラクリ～

講師: 平賀 緑さん(京都橘大学経済学部)

中高生にも「金融教育」が進められ、大人はiDeCoやNISAでプチ投資家になることが勧められています。経済全体が「金融化」され、ますますマネーゲームに振り回されている状態な現代社会。グローバル化、巨大企業、金融化、技術革新などの現代資本主義経済のカラクリについて私たちにとって欠かせない食べ物を通して読み解き、「人と自然とを壊さない世界」を拓く方法を考えましょう。

第6回 12月21日(土)～22日(日)

## 「植民地支配責任」を考える～朝鮮学校の歴史と現状を学ぶことから～

講師: 板垣 竜太さん(同志社大学社会学部)

2009・2010年に京都の朝鮮学校へのヘイトスピーチが繰り返され、その後有罪判決が確定しました。しかし、現在も各地でヘイトデモやSNSへのヘイト投稿が続き、カウンター行動が取り組まれています。知らないことが偏見と憎悪を生み出し、メディアも是正する役割を果たせていません。アイデンティティの確立をめざした朝鮮学校の取組は、共生社会の創造という普遍的な視点を私たちに提供しています。様々な取組の事例や歴史的背景を学び、誰もが尊重される社会づくりに生かしましょう。